

健康寿命日本一を達成するとともに、高齢者や障害者を含む誰もが健やかに暮らせる地域づくりを進めます。

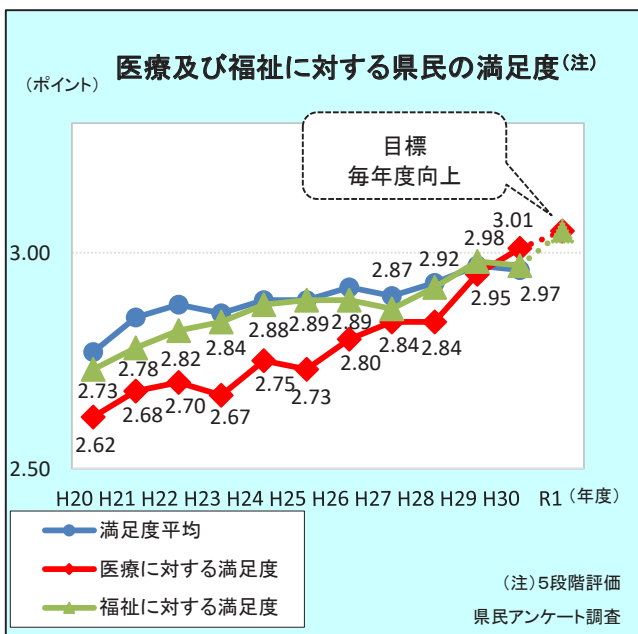
県民が健やかに安心して暮らせる地域医療・介護・福祉の総合的な取組の推進

目指す姿

県民アンケート調査における医療に対する県民の満足度のポイント（急病時に診てもらえる医療機関があること）、福祉に対する県民の満足度のポイント（高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること）を毎年度向上させます。

主担当部局(長)名
 福祉医療部長 西川 浩至
 医療・介護保険局長 石井 裕章
 医療政策局長 鶴田 真也

1. 政策目標(目指す姿)達成に向けた進捗状況

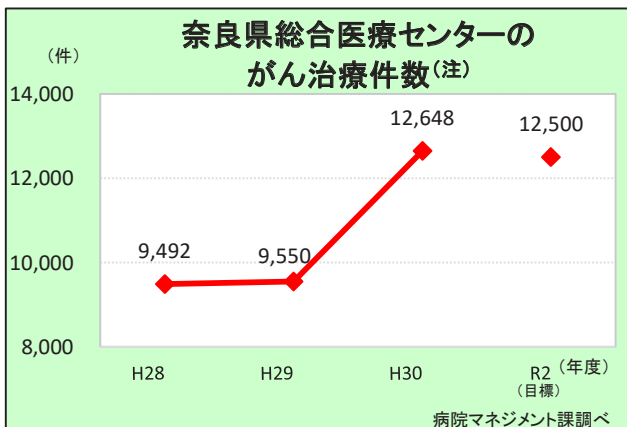


医療及び福祉に対する県民の満足度					
	基準値		実績値	進捗率	目標値
医療	2.62	↑	3.01	H29実績(2.95)を上回っています	毎年度向上
	H20(2008)ポイント	0.39	H30(2018)		
福祉	2.73	↑	2.97	H29実績(2.98)を下回っています	毎年度向上
	H20(2008)ポイント	0.24	H30(2018)		
進捗状況	医療(急病時に診てもらえる医療機関があること)に対する県民の満足度は、救急搬送時間の短縮や小児科二次輪番体制の整備等の取組により向上しています。また、福祉(高齢者やその家族が住み慣れた地域で、適切な介護サービスを受けられること)に対する県民の満足度は、居宅サービス事業所や地域密着型サービス事業所の整備等の取組を行いました。横ばいの状況です。				

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略 県内各地において、高度医療の需要に対応できる提供体制を構築します。

主担当課(長)名
 病院マネジメント課長 増田 修司



奈良県総合医療センターのがん治療件数(件)					
	基準値	増減	実績値	進捗率	目標値
指標	9,492	↑	12,648	104.9%	12,500
	H28(2016)	3,156件	H30(2018)	2/4年目	R2(2020)
進捗状況	平成30年5月1日に奈良県総合医療センターが新築移転した際に放射線治療装置を2台に増設し、地域医療機関からの依頼も増加しました。また、化学療法については、専門診療科である血液・腫瘍内科の新設等により、平成30年度の治療件数は12,648件となり、令和2年度の目標値12,500件を上回り、目標を達成しました。				

主な成果

北和地域の高度専門医療機関として、奈良県総合医療センターに、専門診療科(血液・腫瘍内科、乳腺外科、頭頸部外科)の新設、化学療法室の新設及び放射線治療装置の増設、かつ、地域医療連携が徐々に浸透したことで、がん治療件数の増加に繋がりました。